

関西舞台テレビテクノ&アート協同組合

ドバイ研修旅行 レポート NO,1

平成 30 年 2 月 4 日～2 月 8 日

2/4

21 時・関西国際空港集合

23 時 35 分・出発

2/5

早朝ドバイに到着、11 時間のフライト正直つらい・・・

機内で寝れたのかどうか微妙な状態。

バスに乗り込みホテルの朝食へ、食べてばかりで胃が受け付けない・・・

バスに乗り込み視察へしゅつぱつ

バージ・アル・アラブ

キレイな砂浜・青い海 小澤さんの携帯が水没

ジュメライブ・モスク

宗教でいろいろあるなーと思い時間の都合で中は見れず

ドバイ博物館

時間の都合で流し見状態

なんとなく現地の歴史を感じた。

アブラ船

船に乗り対岸へ 地元の人々の交通手段との事だが観光客しかおらず。

川を渡る風は気持ちよかった。

ゴールドスーク&スパイススーク

ただ、ひたすら歩く、ギネス認定の指輪はでかかった。

ドバイオペラハウス劇場内視察

今回のメインともいえる視察この時間に合わせるためガイドさんも頑張った。

外観は木造の帆船を思わせるような外観小さくしたらアラベスクホールみたいな感じ。

ホール内は、これでもかというような機構が盛りだくさんの多目的ホールでした。

視察したのは普通の劇場形式の状態でしたが、フルフラットのアリーナ状態になるそうです。とにかく、お金と時間がある国なんだと思いました。客席から眺めるだけしかできず舞台上にあがれなかったのが残念

関西舞台テレビテクノ&アート協同組合

ドバイ研修旅行 レポート NO,2

平成 30 年 2 月 4 日～2 月 8 日

ドバイ万博会場視察

車内から工事現場を眺めるだけでした。

ドバイパークス視察

USJ とレゴランドが一緒になったみたいなところ。

ガイドさんいわく、日本人はほとんど来ないところらしい。

なかなか楽しそうなところ。

その中の常設劇場を見せてもらった。

迫や盆の機構がコンパクトで日本みたいに余計なものもなくすっきりした感じだった。

最後にすべてのセクション併せてデモンストレーションを見せてもらっていい勉強になりました。説明もとても丁寧でよくわかりました。

時間があればいろいろもっと見たかったです。

その後夕食の後ホテルにて解散。

長いドバイ第 1 日目が終了。

2/6(自主研修日)

モーニングサファリ視察

早朝より 4WD のトヨタラウンドクルーザーに乗り込み砂漠へ、やっぱりトヨタなんだと思いました。ホテルより 1 時間弱で砂漠に到着、改めて砂漠の上にできている町なんだと実感。何をするのかと思ったらとにかく砂漠を爆走、天然のジェットコースターという感じでした。とにかく、ドライバーの運転テクニックにびっくり、途中砂漠の真ん中で停車、写真撮影等をしましたが、砂の感触にびっくりしました。とにかく、きめ細かくとても心地よい感覚でした。初めて砂漠に来ましたがいい経験になりました。

ドバイモール視察

とにかくでかい。見て回るだけ(店の中などには入らず)で 4 時間以上かかった感じです。

見てる感じ日本にでもあるブランドものばかりがある感じ物価も若干日本より高いのかなーと思いました。

いろんなところに、金に糸目を付けない装飾・LED ビジョン・巨大ミラーボール等楽しませてくれるものがいろいろありました。フードコートで食事ご当地マクドナルドを食べようと思い購入 サイズ・味等日本と変わらず・・・でも料金高め・・・残念でした。

関西舞台テレビテクノ&アート協同組合

ドバイ研修旅行 レポート NO,3

平成 30 年 2 月 4 日～2 月 8 日

ドバイ・ファウンテン噴水ショー見学

ラスベガスのベラージオの噴水ショーを想像していたので、規模から何から残念でした。でも、20 時からのブルジュ・ハリファに仕込まれたムービング&LED ビジョンとのコラボは、すごかった。世界一高いタワーの両翼にムービングを仕込むなんて発想は日本では、無いなと思いました。雨が降らない国だからこそその発想だと思った。この時どうやって仕込まれているのか無性に知りたくなった。明日のブルジュ・ハリファの視察が楽しみになった。

ドバイ第 2 日目終了

2/7(自主研修日)

ブルジュ・ハリファ(アット・ザ・トップ)視察

世界一のタワーに上りましたエレベーターで 148 階に到着。あまりにもな高さで現実味がなく恐怖心すらわいてこない。そこから眺めるドバイの景色は本当に近代的なのはごく一部なんだと実感、続々と高層ビルの建築が進んでいる。でもほとんどはやっぱり砂漠ある意味土地はふんだんにあるという感じこの景色が 10 年後 20 年後どうなるのか楽しみだ。でも、出稼ぎ労働者が過密勤務させられているんだろな一とも思う。

ところで、昨日気になったムービングの状況をまじまじと眺めると、そこには驚くべき状況が・・・なんとワイヤー 2 本に固定された台座にぶら下がっているだけ落下防止ワイヤーもない台座の固定もワイヤークリップ 1 個で止まっているだけ。

しかも灯体は屋内使用の物、養生も特になし。さすが雨の降らない国という状態でした。日本が細かすぎるのか UAE があまいのか・・・と全てにおいて驚きばかりでした。

ル・パール・バイ・ドラゴン観劇

すこし期待度が大きすぎた分残念でしたが、演出・効果共にさすがだなという感じでした。

最後に、自主研修をいろいろ手配していただいた往来の南さん、行動を共にしてくれたハートス岩花さん・つむら工芸岩倉さん・弊社内田・小澤に感謝です。

関西舞台テレビテクノ&アート協同組合

ドバイ研修旅行 レポート

神戸国際ステージサービス(株) 辻村 聡之